

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議（平成29年度第1回）

結果概要

日時：平成29年6月23日（金）午後3時30分～5時20分

場所：鳥取県庁 特別会議室（議会棟3階）

出席者：別紙のとおり



○報告事項

- ◇ 手話パフォーマンス甲子園実行委員会設置運営要綱の一部改正について（資料1）

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議の委員長について、今年度の鳥取県の組織改正に伴い、鳥取県福祉保健部長から鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長に変更する内容の改正（6月20日付け改正）を行ったことを報告。

- ◇ 委員の委嘱について（資料2）

人事異動等に伴い、この度、以下の4名の委員を委嘱したことを報告。

- ・ 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 野間田 憲昭 常務理事（6月21日付け委嘱）
 - ・ 鳥取県高等学校長協会 山根 孝正 会長（4月1日付け委嘱）
 - ・ 鳥取県私立中学高等学校長会 佐伯 友茂 会長（4月1日付け委嘱）
- （・ 県福祉保健部ささえあい福祉局長の宮本が新しく委員長に就任。）

【各委員の意見（資料1・2）】

- ・ 特になし。

- ◇ 参加チームの申込み状況について（資料3）

会議前日の6月22日現在の参加申込み状況を報告。現時点で10チーム（9校）の申込みとなっており、昨年の61チーム（65校）の参加申込みに対し、現時点で申込みチーム数が10チームに留まっていることについて、例年締め切り直前に申込みが集中する傾向が認められることや、大会開催日の決定が遅れたこと等がその要因ではないかという見解を説明。

【各委員の意見（資料1・2）】

- ・ 各高校からの問合せ状況はどうか [戸羽委員]
- ・ 前年度には翌年度の学校行事が決められており、今回、開催時期が変わった（9月第4週→10月第1週）ことから、参加しなくても参加できないケースがあるのではないかと [三王寺委員]



○議題

- ◇ 議案第1号：第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「第4回大会」という。）実施計画について（資料4）

資料4に沿って、現時点の第4回大会の実施計画の内容を説明。

【各委員の意見】

[P.7 交流会関係]

- ・ 前回は要約筆記スクリーンの高さが低く、高校生にとって見にくいものだった。ぜひ、今回は見やすい高さになるよう考慮してほしい。 [田中委員]
- ・ 従来のスクリーンによる情報保障だけではなく、手元のスマートフォン等で要約筆記の文字情報を見ることができるよう、新しい情報保障の方法についてぜひ検討してほしい。
 - ⇒ 了解（事務局）。現在、本大会を含めてスマートフォンを活用した情報保障を実現できないか模索している。ぜひ、引き続き検討してみたい（M&M）。
- ・ 前回、各テーブルにいる生徒の高校名が分からないため、話してみたい高校を探すのに手間取り、話しかけるのに時間がかかってしまったことが気になった。交流を促進するため、プラカード等で高校名を大きく表示して分かりやすくするような工夫をお願いしたい。 [廣田委員]
 - ⇒ 了解。

- ・開始時間が18時10分という中途半端な時間なのは何故か？〔廣田委員〕
⇒ 交流会の時間は、関係機関と調整中。調整結果については、またご提示したい。

[P.13 ボランティア関係]

- ・高校生ボランティアを増員することはいいこと。ただ、1チーム1名しかボランティアの高校生を配置しないのは少ないのではないかと？〔田中委員・国広委員〕
- ・出場チームについて、生徒・引率いずれもがろう者の場合、情報保障用のアテンドが必要ではないかと？〔田中委員〕
⇒ 現状は、チームにて情報保障の対応をしていただくよう考えている。ただ、本大会出場チームが決定し、参加する生徒及び引率者の状況から、情報保障用のアテンドが必要かどうかの対応について、個別に検討していきたい。



- ・高校生ボランティアへの説明会は予定されているが、手話スタッフ、手話通訳、要約筆記に係る担当者への説明会は予定しているか？〔国広委員〕
⇒ 今後速やかに県や鳥取県聴覚障害者協会を交え、手話通訳等の全体の配置計画を策定し、手話スタッフについて相談することとしたい。もちろん、手話スタッフへの説明会も実施したい。なお、手話通訳及び要約筆記については、関係機関とのミーティングを通じて、各担当者への説明に代えたいと考えている。
- ・高校生ボランティアの募集について、教育委員会を通じて行うということだが、広く県内の高校にボランティアの募集を行い、ポスターやチラシ等を併せて高校に配布すれば、大会のPRに繋がるのではないかと？
⇒ 了解。ぜひ、参考にさせていただきたい。

[P.15 会場イベント関係]

- ・展示室で実施することとしている手話カフェについて、前日の9月30日と本大会当日の2日の開催となっているが、前日の手話カフェは一般の人も対象か？そうであるならば、一般向けにPRも必要ではないかと？〔田中委員〕
⇒ 前日の手話カフェは、リハーサルに来る大会出場校を対象に想定している。一般向けは当日のみと考えている。
- ・昨年は、会場イベントとしてクイズラリーを実施した。今年は何かイベントはあるのか？〔戸羽委員〕
⇒ 昨年は、交流の推進という観点でクイズラリーを提案した。今回は、手話カフェを提案し、手話に直接触れ合う機会や交流の促進を図っていきたい。(その他、ウェルカムイベントとして、郷土芸能ステージ(朝・昼)等を実施する予定。)
- ・今回は、昼休憩を1時間確保しているが、昼休憩中、梨花ホール内の飲食は可能か？来場者の飲食の案内はどうするのか？施設内のグリーンハウス(レストラン)は営業するのか？〔国広委員〕
⇒ 昨年と同様、梨花ホール内の飲食は原則禁止。ただし、2階席の高校生等に限っては、飲食の許可を施設管理者からいただいている。グリーンハウスの営業は不明。なお、大会プログラムに飲食関係の案内を掲載し、来場者へ案内するよう考えている。
- ・1階のフリースペース等にスクリーンを設置するとあるが、1階のフリースペースは前回と同様、ガラス張りの空間となっている。前回のように(周りが明るすぎて)スクリーンの映像を見ることができないということがないようお願いしたい。〔国広委員〕
⇒ 今回は、スクリーンではなく、60インチ等のモニター(自発光型)を設置して、ステージの様子を1階でも観覧してもらえるように計画している。(投射映像ではないので)前回のスクリーンの映像を見ることができないというようなトラブルはない。
- ・高校生が大会の盛り上げに一役買うという観点で、生徒の実習製品や生徒が企画したお菓子等の販売など、出展を希望する高校にブースの提供を検討してはどうか？大会中は中間考査の時期で都合がつかないかもしれないが、旅費の支給を伴えば、手を上げる高校があるかもしれない。〔山根委員〕
⇒ 了解。ぜひ、検討させていただきたい。



[P. 16 座席計画関係]

- ・毎回、ハートフル席の対象者が不明確。分かりやすい案内ができるよう工夫が必要。[田中委員]
- ・イラストを使って視覚的に分かりやすく案内するようにしてほしい。[森原委員]
 - ⇒ 毎回、利用希望者には（資格審査等を行わず）案内するようにしている。今回、看板等で分かりやすく案内できるよう工夫してみたい。

[P. 18 情報保障計画関係]

- ・情報保障コーディネーターを体制に組み込んでどうかと提案したい。通訳や要約筆記等をそれぞれが考えるのではなく、情報保障を全体的な視点に立って助言や提案を行うコーディネーターを配置し、運営体制の中に組織付けるもの。ぜひとも、全国に先駆け、先進的な取組を実現させてほしい。委員の皆様にも協力をお願いしたい。[大杉委員]
 - ⇒ 了解。ぜひとも検討したい。



[P. 21 駐車場計画関係]

- ・ハートフル駐車場の利用を案内する際、聞こえない方への案内方法は？[森原委員]
 - ⇒ 毎年、駐車場班に手話通訳を1名配置し、何かあれば通訳が対応することとしている。また、警備員がパネルを持って駐車場内を巡回し、必要に応じて、ハートフル駐車場の利用希望者等、案内が必要な方には直接対応するようにしている。例年、特に大きなトラブルはなく、案内できている。
- ・計画上の片原駐車場は有料だったと思う。一昨年の第2回大会時に、有料の“えるもーる駐車場”利用者に無料券を配付することとしていたが、今回も同様か？[国広委員]
 - ⇒ 誘導方法としては、P. 21 の優先順位のとおり案内するよう計画している。片原駐車場の優先順位は最も低い、誘導する際は無料処理の対応を行うこととした。

[表彰チームについて（議題外）]

- ・前回（昨年度第4回会議。2月に開催）で審議した全日本ろうあ連盟賞と日本財団賞について、受賞対象チームをろう学校とそれ以外の高校に分ける必要はないのでは？[田中委員]
- ・特に対象チームを分けなくてもいいのでは[三王寺委員・国広委員]
- ・各賞は、各団体が決めるのか、審査員に決定を任せるのか[大杉委員]
 - ⇒ 賞は各団体が決めるもの。前回会議での議論は、あくまで表彰チームの決め方の目安を各団体にお示ししたもの。改めて内容を整理する。

[その他]

- ・今年、大会名のロゴは変わったのか？[廣田委員]
 - ⇒ 昨年、下方の2つのロゴを状況に応じて使用しているところ（例えば、親しみやすく表現したいところでは、右側のカラフルなロゴイラストを使うといったような方法。最近では、右側のロゴイラストを使用することの方が多）。特に、今年度変わったということはない。



- ・P. 23（バリアフリー計画）に「アクセシビリティな大会へ」という表現があるが、一般的な表現ではなく、違和感を覚える。[山根委員]

- ◇ 実施計画については、いただいた御意見等の実施について今後検討を行うこととし、本内容で進めることについて、了解をいただいた。また、次回会議（8月下旬を予定）において、今回の御意見等を踏まえ、さらに検討を進めた実施計画を提示することとする。

（なお、時間の関係で、十分な発言できなかった点については、今後、随時、事務局にご連絡いただき、今後の実施計画の参考とさせていただくこととした。）



○その他

◇ 協賛の募集について（資料5）

協賛の募集について、事務局から説明。多くの協賛をいただくべく関係者への声掛け等、協力を要請。

【各委員の意見】

個人協賛の特典である「大会への優先入場」について、詳細を教えてください。[国広委員]

⇒ あくまで協賛者へのお礼という観点ではあるが、来賓席に近い見やすいお席を用意するよう考えている。

◇ 今後の日程について（資料6）

今後の日程について、事務局から説明。

【各委員の意見】

特になし。

◇ 平成29年度予算及び平成28年度決算について（資料7）

今年度の予算及び昨年度の決算の状況について、事務局から説明。

【各委員の意見】

特になし。

◇ その他

- ・手話パフォーマンス甲子園応援ポロシャツの紹介。
- ・LINEスタンプ販売開始の案内。



手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿
(平成29年度第1回)

| 役職 | 所属・役職名 | 氏名(敬称略) | 出欠 (代理:敬称略) |
|-----|---------------------------------------|---------|----------------|
| 委員長 | 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長 | 宮本 則明 | 出 |
| 委員 | 公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長 | 戸羽 伸一 | 出 |
| | 鳥取県手話通訳士協会 | 森原 早百合 | 出 |
| | 全国手話通訳問題研究会鳥取支部 | 国広 生久代 | 出 |
| | 鳥取県手話サークル連絡協議会 | 田中 優子 | 出 |
| | 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事 | 野間田 憲昭 | 出 |
| | 鳥取県教育委員会事務局 教育次長 | 寺谷 英則 | (議会对応) |
| | 鳥取県高等学校長協会 会長 | 山根 孝正 | 出 |
| | 鳥取県私立中学高等学校長会 会長 | 佐伯 友茂 | 出 |
| | 鳥取県立鳥取聾学校 校長 | 三王寺 孝子 | 出 |
| | 一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長 | 廣田 喜春 | 出 |
| | 国立大学法人筑波技術大学 教授 | 大杉 豊 | 出 |
| 事務局 | 障がい福祉課社会参加推進室 室長 | 明場 達朗 | \ |
| | 障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐 | 竹ノ内 司修 | |
| | 障がい福祉課社会参加推進室 係長 | 安永 孝文 | |